京城日報 朝刊 夕刊 共八頁

社説 皆勞に起て

者と雖も益々率公の誠を效し、一身の打算から移動するが如きことを戒心せねばならないのである。と同時に使用者においても産業戰士を遇する上に一段の工夫と努力を拂はねばならないことは勿論である。

なほ半島における皆勞運動は前述の如く生産力の昂揚と同時に國民資質の錬成をも目的とする皇民化運動といふ點に特色があるのであつて、過去の賦役とは截然異るのである。この點には指導者は細心の注意と最努力を拂ひ、以て二千四百萬總起ちの下に國民皆勞の實を擧げしめねばならないのである。

湖南作戰に呼應 余漢謀麾下を奇襲
廣東東北方に新作戰の火蓋切る

……南支軍は九月十八日東江岸地區増城、福和墟方面及び神岡、花縣方面より各有力なる部隊をもつて一齊に作戰を開始し所在の敵を撃滅、目下逐次戰果を擴大中である……

……湖南作戰と呼應し十八日を期して増城、福和墟方面及び廣東北方東地區に蟠踞する敵は……所在の敵を撃滅、目下……奇襲に早くも逃げ足立つ……

……がんとの政治的意圖の下に蠢動を開始したもので我が方はこの種敵側の行動の裏を掻くべく機の熟するを待つて殲滅の鐵槌を揮ふに至つたもので、電撃戰法に不意を喰つた敵は廣東奪回の豪語にも似ず早くも戰意を喪失しつゝあるとともに抗戰無力の醜状を暴露しつゝある

荒鷲潰走の敵兵團を粉碎

【〇〇飛行基地にて廿日同盟】わが荒鷲は秋山、光岡、瀧野、中川諸……

敗走する敵に猛射を浴びせる東小隊（湖南戰線新墻河附近にて）

要衝、磊石山を攻略
陸海兩軍感激の握手

【中支〇〇廿日同盟】中支艦隊報道部廿日午後六時卅分發表＝海軍陸戰隊は十九日午後陸軍部隊と協力の下に磊石山を攻略した

【汨水北岸にて廿日同盟】粤漢線遮斷の後、敵九十九師の敗敵を洞庭湖岸に向つて追撃中の今村快速部隊は十九日午前六時卅分増水のためほとんど離れ島と化した湘江河岸の要衝磊石山に突入したが、洞庭湖より湘江を溯行し來つた海軍陸戰隊も同日午後四時には磊石山の一角を占據し、こゝに陸、海感激の握手を遂げた

新市（汨水南岸）に突入

【汨水河畔〇〇にて廿日同盟】十八日大荊街、鸞磐橋の敵堅壘を突破、十九日午後汨水の線に進出東西相協力して壯絶なる汨水渡河を決行、有無をいはさず進撃中の的野、重信、鬼頭の各部隊は廿日午後四時新市（汨水南岸）に突入した一方花谷、坂本、石井の各部隊は同午後五時四十分郭家灣（新市西方十キロ）附近を確保、目下殘敵を掃蕩中である

【〇〇前線基地廿日同盟】新墻河渡河後敵の堅壘を次々に陷れて十八日夜突如黄沙街に進出、粤漢線を遮斷、同線西側地區の敵背後を襲つた我が村井、早瀬、横瀬、河崎の諸部隊はさらに鋒鋩を北方にむけ進擊を續行、我が包圍網下に陷つた敵を撃碎、鐵環を壓縮し戰果を擴大中である

猛撃愈よ熾烈

【汨水河畔〇〇にて廿日同盟】十八日未明を期し海、陸、空一體となつて開始された岳南地區敵第九戰區軍殲滅戰は豫定以上の進捗を見せ、わが

各精鋭

は秋深む湖南の山野に士氣いよ〳〵軒昂、逐次戰果を擴大しつゝある、即ち新墻河上流史口、沙港の合流點近くより急湍を强行渡河した北野、杏、森田、小浦、鵜澤、井上、中村、佐藤の各部隊は新墻河南岸の要衝笠萩街を占領後息つく間もなく西南方に鋒鋒を轉じて猛進、十八日午後遂に

粤漢線

を數ヶ所において遮斷するに成功、十九日來更に南下を續け汨水河畔に向つて殺到しつゝある、また新墻河三角地帶より進發、麗荊街を突破した豐島的野、花谷、宮永、高森、沼崎、片岡、波多野などの諸精鋭は十八日夕新敵の堅陣

大荊街

を占領、その南方鸞磐橋をも陷れ、十九日午後より鋒を西南に轉じ汨水の線に向つて怒濤の如く押寄せ、さらに新墻河を渡河後一氣に南下中の神田、平岡、松村、日高の各精鋭は十九日午後今次作戰中の最難關と目される汨水渡河一番乘りを決行、南岸太子街附近に

皇軍怒濤の進撃
敵軍必死の防戰空し

【湖南〇〇基地廿日同盟】湖南作戰開始以來僅かに二日にして新墻河、汨水など第九戰區の西北線陣地をもろくも潰滅された敵は湘江デルタの最左翼陣地の中心に湊壽・汨江、湘陰および汨水上陸沿岸の平江を結ぶ線に守備第三ラインを構成、早朝萬洋山脈に去來する白雲を仰ぎつゝ怒濤の如く南下猛進するわが精鋭諸部隊の猛壓に必死の苦戰を續けてゐる一昨年九月贛湘作戰にわが鐵槌を蒙つて崩壞に瀕した第九戰區の再建に狂奔した薛岳は昨年二月以來洞庭湖東南岸鹿角史口および古市を連ねる線に新墻河ラインと呼稱する三段陣地を構築、第廿七集團軍楊森の麾下第九軍長王震はじめ第五十九、第九十の中央直系軍および中央傍系の第百三師を配備しわが軍の南下阻止に當らしめたが文字通り鎧袖一觸新墻河の無前敵前上陸にむなしく潰亂して汨水の南岸に敗走、同河守備に再度の慘敗を喫した

一方湘江右岸から洞庭湖南岸に敗陣、中央直系第九十二師をはじめ傍系九十九、百九十七師などを集結、粤漢鐵路と併行する重要軍需輸送路湘江の防衛に當つてゐた薛岳直屬の傳仲芳麾下第九十九軍は早くも湘江北方の重要軍事基地磊石山を攻略されるにいたる、目下新墻河ラインを敗退した楊森の麾下第廿七集團軍と合流必死の防戰に努めてゐる

敵續々増援部隊を集結

【汨水〇〇河岸にて二十日同盟】本日早朝汨水、羅水合流地點上流地區の敵軍に對し猛攻の火蓋を切つたわが精鋭各部隊は目下敵主力との間に壯烈極まる激戰を展開中であるが、新墻河、汨水の前衛陣地を潰滅された敵は湘江デルタ地帶を中心に湊壽、汨江、湘陰および平江を結ぶ線に防衛第三ラインを構成し長沙方面より續々増援部隊を集結、わが南下進撃を防禦せんと必死のあがきをつゞけてゐる

而して

皇軍精鋭部隊の急追その配備を増強するとともに遠く長沙湘潭方面からも増援部隊を繰出し必死となつて防戰に努めてゐるが、すでにわが進撃一日にして第九戰區直轄軍を含む最精鋭部隊三軍七ケ師約四萬を撃破された敵は戰意喪失に到らずその抵抗力は刻一刻低下しつゝある

燦たる

日章旗を打ち立てた、かくて汨水河畔の歸義、六新市、附近長樂、太子街、語口を連ねる延々四十數キロの線に轡を並べたわが精鋭は十九日夜を徹して南岸の敵既設トーチカ陣地に猛攻を浴びせ、二十日朝來荒鷲群の急降下爆擊と相俟つて、わが猛擊はいよ〳〵激烈を極めつゝある

”天氣は上々吉”
爆撃部隊に齎す吉報
＝或日の荒鷲偵察部隊＝

【〇〇基地廿日同盟】敵抗戰陣營を徹底的に撃滅しつゝ世界空戰史に燦然たる戰果の金字塔を打樹ててゐるわが荒鷲の精鋭爆撃、戰鬪兩部隊の武勲の陰に氣象觀測に、爆擊機誘導に、あるひは敵情偵察に爆擊隊下の撮影になみ〳〵ならぬ苦鬪をつゞけてゐる偵察部隊のかくれた活躍がある、記者は航空日に因み〇〇基地に偵察部隊を訪ねて一日の活躍ぶりを見せて貰ふことが出來た、左記は偵察部隊一日の日課のスケッチである

〇月〇日曇　斷雲は天を蔽ひ明けの星はまばらに見え、〇時偵察部隊にはもう今日の攻擊目標『〇〇偵察』の命令が下つた、朝の冷氣は肌を刺す、今日の偵察行動は長距離である快調な爆音を後に基地を出發した

やうやく東天が白み、すでに『〇〇地薄曇』『〇〇は斷雲』『目指す〇〇は曇りながら爆撃可能』と一報、二報と相次いで吉報が基地にもたらされてくる

やがて偵察部隊よりもたらされた通報によつて爆撃部隊のコースは決められ勇躍堂々の大編隊をもつて出動して行く、この時偵察部隊は爆擊の戰果を記錄すべく同時に出發する、やがて敵陣營の殘骸が早くも撮影されて行くのである、任務を終つた偵察機は一機一機相次いで基地へ歸還する、愛機より降り立てば休む遑もなく報告に寫眞現像に忙がしい、かうして多忙な一日が終る、勇士たちの面上には疲れの色もない、かくて勇士は勤め果した喜びを胸に祕めて深き眠りに入つて行くのだ

ソ軍越境事件
勃政府抗議す

【ソフイヤ廿日同盟】ブルガリヤ政府は十九日ソ聯落下傘部隊が去る十三日より十四日にわたりブルガリヤ領土に越境したる事件ありブルガリヤ政府は右に對し直ちにソ聯政府に抗議を行つた旨發表した、なほブルガリヤ政府當局の發表した、右ソ聯落下傘部隊は十三日夜半ブルガリヤドブリッチ地方に着陸したが、同地方駐在のブルガリヤ軍ならびに警察隊により殲滅された

英海軍首腦アンカラに到着

【アンカラ廿日同盟】英國海軍首腦二名は隨員數名を帶同、トルコ政府に對する公式任務を帶びてアンカラに到着した旨十九日トルコ政府より公表された但し一行の目的、顔觸れ等は不明である

獨空軍英護送船を撃沈

【ベルリン廿日同盟】獨軍當局が廿日發表した處によれば獨爆撃編隊は十九日夜英本土東岸海上で英護送船團を發見、これに猛爆を加へ約一千噸級英商船一隻を撃沈しさらに七千噸級輸送船にも直撃彈を命中、大破せしめた、また他の獨追擊機部隊ホルスト・ヴカエッセル隊は東部戰線で華々しい活躍をなしその撃墜せるソ聯機は今まで一千台をこゆる外七百五十台を地上撃破した

獨奇襲艦損傷

【ニューヨーク十九日同盟】UP　ロンドン電は權威ある筋の情報として太平洋で活躍を續けてゐたドイツ奇襲艦が遂に十九日パナマ西方某地點において攻擊を受け大破したとの噂が傳へられてゐるが、この奇襲艦は過般大西洋で商船二隻を撃沈したと傳へられるものである

ル大統領沈默

【ハイドパーク十九日同盟】ルーズヴエルト大統領は十九日の記者會見で米海軍が樞軸國奇襲艦を撃沈したとのデーリー・エキスプレス紙の報道に對し『目下の所右報道に對してはどうかういふことは出來ない』と答辯を拒絕し、根本問題に關しても一切答辯を拒絕し唯左の如く述べたに過ぎなかつた

余は過去二十四時間の間に日本問題又は根本情勢については何も聞いてゐない、十八日のハル長官との會見では根問本題には全然觸れなかつた

五行知識

鑵切戰術　獨ソ戰に外字新聞が名づけた戰術の新聞用語で敵集團の周圍を極めて優秀な機甲部隊により物凄いスピードで敵陣を包圍し歩兵その他の部隊と協力して殲滅を形成退路を遮斷して殲滅を期する戰法、スモレンスク附近の作戰がその例

牛舌戰術　同じく新聞用語でこの戰術は一主力部隊が必死となつて直一文字に敵陣に進擊し左右に屬れる敵を牛の舌の如く巻き込むやうに薙ぎ倒し自軍の進擊路を作る戰法である（けふの解說朝鮮軍報道部囑託高井邦彦氏）

×　×　×

キエフを完全占領
赤軍最大危機に直面

一、チエルニコヴ、クレメンチユーグの兩地點を基點とする獨軍の大包圍作戰はキエフの東方地區において南北兩軍の連絡なり過去の二ケ月にわたり獨軍の猛攻擊をささへて來たキエフも遂に陷落、またこの方面の赤軍の大部隊も完全にその退路を斷たれたといはれる

一、ウクライナの南部方面では獨軍はペレコブ地峡の占領でクリミヤ島を大體孤立せしめることに成功したものの如く、これと共にソ聯側コーカサスに對する危機が増大し、ノヴオロシイスク地區ではソ聯側も黑……の事態を豫想して人民軍の結成を開始したことが傳へられてゐる

一、黑海沿岸のソ聯海軍基地が相次いでドイツ軍攻擊の脅威に曝されるとともに各海上權の制覇も漸次ドイツ側に有利となりセヴアストポールには未だ有力なソ聯艦隊の結集が報ぜられてゐるが、海上からするコーカサス攻擊の可能性も次第に増大するに至り、ブルガリヤ沿岸にはドイツの大部隊の集結が報ぜられ、またこれと關聯して、ブルガリヤ、ソ聯關係の危機、あるひはダーダネルスの地位をめぐり、トルコの動向も重大視されはじめた、なほ最近イギリス方面から赤軍の危機を傳へる報道が特に目立ちはじめたが、これは對英、對ソ援助の積極化を狙つたイギリスの對策工作の一部と見做され注目されてゐる

【ニューヨーク十九日同盟】ドイツ軍は十九日遂にキエフに突入した、それと同時にクレメンチユグ附近作戰の部隊は更にその侵鋒を移して東方に前進しクレメンチユグ東北ポルタワの線にまで達したといはれる、同地からハリコフ迄は百卅キロに過ぎず、その間一帶は平原地で自然の障碍がないからドイツ軍の進擊はこの方面の赤軍混亂状態と相まつて豫想外の神速な前進を示すのではないかと見られる、一方西ウクライナの工業地帶を失つたソ聯はさきにキエフ方面の工業地帶をもドイツ軍に奪はれ、レニングラード工業地帶も現在はその機能を失つてゐる形であり、これに加へドネッツ盆地地帶（ハリコフ附近）がドイツ軍の手に落ちる時はソ聯國內工業地帶としてはモスコー附近が殘されるのみとなり、たとひ獨ソ戰が冬季に移行するとしても赤軍が今後長く大規模作戰を續行し得るか疑問視されるに至つた、從つて英米の援助はソ聯の生命線保持のためいよ〳〵急を要することになつた

英側一縷の望み

【ロンドン特電十九日發】ルントステツト元帥、ブオン・ボツク元帥麾下兩軍の連繫による烏克蘭南部一帶より全軍の士氣、抵抗力に重大なる打擊となるものと見られてゐるイギリス軍部筋ではたとへ彪大な大包圍網は完成してもドイツがこの包圍網を引き絞るにはなほ一週間の時日を要しようと觀測しドイツ軍が今次の包圍作戰を企圖しつゝあつたことはつとにソ聯側も察知してゐたところであるからドイツ包圍環の手薄な箇所を狙つて奇襲する任務の民兵數ケ師團を殘して大部分の兵力は無事脱出し得るだらうとの希望を洩らしてゐる

伸じソ聯側は直ちに戰場に繰出される四十萬乃至五十萬の新編成豫備軍を手待ちしてゐるとはいへあらゆる點において從來の第一線ソ聯軍とは比較にならぬ劣弱な兵隊であるから不完全……

皇大神宮假殿遷宮
神宮司廳から發表

【宇治山田電話】皇大神宮では御正殿御修理のため假殿遷宮を行はせられることになり、二十日午前十一時三十分神宮司廳から左の如く發表された、なほ同遷宮は明年……

皇大神宮假殿遷宮を行はせらる旨御治定の趣本日公報に接したり

村上陸軍中將歸還

【長崎電話】まる二年にわたり中支戰線に武勲を輝かした村上啓作陸軍中將（栃木縣出身）は今回〇〇學校長に轉任のため廿日長崎入港の日華連絡船上海丸で晴の歸還、同日午後二時半長崎港驛發急行で東上した

伯國、桑島大使に勳章贈與

【リオデジヤネイロ十九日同盟】ヴアルガス、ブラジル大統領は十九日前駐伯帝國大使桑島主計氏に南十字星大綬章を贈與した

商工省貿易業者統合案考究

【東京電話】貿易統制令施行規則の全面的改正による貿易政策の轉換に伴ひ全國六千の貿易業者の整理統合は緊急を要するので、企畫院、商工省では目下愼重に統合策を考究中であるが、一方業者間においても各種の統合案が行はれてゐる、しかし商工省としては右業者案は殆ど指定商の保身的統合案にとゞまるため、これを顧慮することなく大局的見地から獨自の整理統合案を決定する方針を持してゐる

綏靖軍一部叛亂
わが討伐軍急追、殲滅近し

【北京廿日同盟】昨年春南京から派遣され河南省北部の滑化縣附近の治安維持に當つてゐた綏靖軍劉昌義は部下の一部約二百名とともに去る九月十二日たま〳〵檢閲のため同部隊に赴いた南京國民政府派遣王第中將以下を拉致して叛亂を起し、わが討伐軍は目下空陸相呼應して匪徒を急追してゐるが、

レ市斷末魔

【ベルリン特電十九日發】レニングラード攻防戰は連日連夜引續き熾烈を極めてゐるがドイツ軍第一線よりの報道によれば十九日來レニングラード市内各所より煙上り市上空は眞黑に蔽はれてゐる、その中を亂舞するドイツ機の急降下爆擊は間斷なく續けられ、また攻城砲の猛擊は天地に轟いてさしものレニングラードも今や言語に絶する斷末魔の死相を呈してゐる

る裝備をもつてドイツ機甲兵團に立ち向はざるを得なかつたフランス軍と同樣な立場にソ聯軍が追ひ込まれるのも遠い將來ではあるまいと悲觀されてゐる

蘇州驛に爆破事件
重慶系テロ團か

【蘇州廿日同盟】今曉午前三時十五分ごろ蘇州驛構內西南の貨物引込線に爆破事件發生、被害は車輛線路のみで僅少であつた右事件は警戒嚴重なるため驛內に侵入し得なかつた重慶テロ一味の仕業と睨み憲兵隊大澤部隊では犯人探査中

……叛亂部隊の殲滅は時間の問題となつた、なほこの叛亂で間野恒由少將軍顧問および將校數名が戰死した模樣である

英艦十二隻アメリカで修理

【ワシントン十九日同盟】アメリカ海軍省は十九日修理その他の目的を以て目下アメリカ各地の造船所にあるイギリス軍艦は主力艦ウオースパイト號（三〇、六〇〇トン）航空母艦イラストリアス號、フオーミダブル號何れも（二三、〇〇〇トン）以下合計十二隻に上つてゐる旨發表した

英の軍需輸送船二千隻

【ニューヨーク十九日同盟】イギリス某港駐在イギリス戰時交通省當局者の言として十九日當地に達した情報によればイギリスは現在少くとも二千隻の船舶を常に動かしてゐて、その中所謂危險區域を航行するものは四百隻を出ない、武器貸與計畫に基づいてアメリカから輸送されつゝある物資は過去十週間の實績によれば平均一週間八十五萬トンに上つてゐる

＝人＝

◇日下俊隆師（淨土宗西山光明寺派管長）廿日入城、石原彰德家庭女學校長同道で本社來訪

◇林泰藏氏（國民總力朝鮮聯盟顧問）十七日より忠淸南道へ出張中のところ廿一日午後四時三十分『のぞみ』で歸任の豫定

◇石塚峻氏（朝鮮米倉社長）廿日裡里へ、廿一日歸城

◇佐藤德重氏（朝鮮有煙炭常務）十九日咸北慶源郡へ出張、月末歸城

東西南北

何時行つてみても何か會議か打合せをやつてゐる總督府財務局の司計課長室▲部屋の中をみると課長の机の廻りに陳品の樣な小さい補助机が並べてあつて會議となれば課長の廻りに事務官連がそのまゝ坐れば出來るといふ至極便利な仕組になつてゐる▲その眞ん中に納まり返つてゐる奥村司計課長に『隨分切り詰めたやり方ですな』といふと課長様らしげに『君節約しようと思へば際はないさ、豫算と同じで切りつめるのはお手のもんだよ』とは相當なもの

京城版

向上女實の行軍

向上女子實業學校では去る十八日滿洲事變記念日を迎へて全校生徒體位向上を目標として洗劍亭、北漢山を徒歩突破した

遙かに捧ぐ 千四百の祈り

譽れの先輩李上等兵合祀の日 志願者訓練所の遙拜

半島出身兵の華李仁錫上等兵の英靈が靖國神社臨時大祭に合祀され畏くも下賜された金鵄勲章功七と共に重なる榮譽を擔ふことになつた、故上等兵育ての親許朝鮮陸軍特別志願者訓練所では所長海田大佐以下全職員生徒一千四百名が校庭に整列靖國神社を遙拜して謹かに李仁錫上等兵の合祀を祝福することになつてゐる、海田所長は感激して語る【寫眞＝海田所長】

『前は金鵄勲章を下賜され今また靖國神社に合祀される重ね重ねの光榮に訓練所員の生徒一同は我が事のやうに感激してゐます、遺族の人達もさぞ滿足してゐることでせう、今更乍ら皇國の有難さにただ感泣のほかありません、合祀の日は遙かにこの喜びを訓練生にも分つため彼の靈に心からなる禱を捧りたいと思ひます、そしてこれを尊い教材としてこの無上の光榮を傷つけぬやう指導に邁進して半島二千四百萬の龜鑑たらしめる覺悟であります』

光榮に輝く 靖國神社合祀者

故松本上等兵

『お父ちやまが靖國にゐるんだ嬉しいな』

幼な兒をひきよせ靖國に父在ますを聞いて無心に喜ぶ幼な兒をひきよせ『この上もない譽です、この譽を傷つけぬやう形見のこの子を立派に育てます』

昨年四月十三日山西省聞喜附近の激戰に頸部貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げた京城府花園町三三二の家族を訪れると未亡人フミエさんはさすが軍國の妻らしく健氣に感激と強い決意を語るのだつた、フミエ未亡人は遺兒キク子ちやん(四ツ)を抱へ雄々しくも職業戰線に更生の道を歩みタイピストとして總督府に勤務中である

故坂本上等兵

故坂本祭上等兵は過ぐる十四年二月十九日中支許家村の戰に無線隊として活躍中右胸部貫通銃創を受けて散華した勇士、京城驛前に旅館を營む嚴父正夫氏を訪れると在りし日の我が子を偲びながら懷かしい思ひ出を左の如く語つた

二人の子の中長男のあの子に死なれた時は本當に力を落しましたが……忘れもしませんが戰死した時の有様は人聞きながらも目に見えるやうです、無口だつた子でしたが……九段へ參つた節はよく靈を慰めてやる、立派な靖國の御社に祀られるなんてなんと幸福なことでせう

故下松上等兵

功七級八下松伊太郎上等兵は十四年四月十二日中支江蘇省川港鎭の殘敵掃蕩戰にて胸部に貫通銃創をうけ雄々しくも散華した、京城工業の出身で鐵道局の總督府燃料研究所に勤めてゐた、遺族も極めて少人數で令姉のハツさん(三二)一人、京城電話局光化門分局監督として勤務中である、大島町八番地の自宅を訪へば次の如く語る

弟は身體の弱い方でしたが入隊してからは見違へるほど元氣になつてお國の奉公が出來ると喜んでゐました、よそ様から出征軍人の家として非常に大事にして戴いてをりますが、今回はまた有難い思召しに接して申上げる言葉もありません

故村山上等兵

〃まあ富雄が靖國に―もつたいないことです〃と感激の涙も新たに靈前に祈る老いた母がある

一昨年五月八日山西省陽城縣の口北側高地の激戰に右頭部貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げた京城府光熙町一ノ二三六村山富雄上等兵の母スマさん(五一)は富雄君が五つの時後添として村山家に嫁して以來二十五年兩親の愛を集めて成長した富雄君も京商を卒業、京城中央郵便局に勤務してゐたが昭和十二年四月父親は母子を殘して永眠した涙のかはく間もなく富雄君は名譽の召集を受けて出征、數々の武勳を樹てて散華したのだ

獨り殘されたスマさんは不自由な老の身に下宿屋を營み溫い隣組に慰められ夫と息子の冥福を祈つてゐるが、お蔭様で村山家の祖先にも亡き夫にも申譯がたつてこれ程嬉しいことはありません

と健氣に語るのだつた

故櫻井伍長

功七級八故櫻井一男伍長は聞喜の殘敵を掃蕩中腹部に貫通銃創をうけ十三年四月十五日壯烈な戰死を遂げた、大島町八の遺族を訪へば母堂のタズさん(四七)は語る

伜は龍山署に勤めてゐましたが勤務してから間もなく應召致しました、非常に朗かな方でまだ隊にゐるとき妹が兄さん今度何時歸るのといへば〃今度歸るときは桐の小箱で靖國神社へ歸つて來るのさ〃といひ殘して征きましたが今ではこの言葉が語り草になりました、神と祀られ嘸かし伜も喜んでゐるとでせう

故栃囿上等兵

一昨年四月二十日山西聞喜縣附近の激戰で貫通銃創をうけて名譽の戰死を遂げた、京城黄金町六ノ一七栃囿止典上等兵の家庭には父元次さん(五二)が中央電話局に勤め母ノブさん(五二)と兩親だけで

〃正典が立派な働きをしてくれせめて報國の萬分の一でも出來喜んでゐましたのにこの上靖國に祀られるとはもつたいないとことです〃

と軍國の母ノブさんは語つた

町の清掃から「防空壕掘りまで」

ヨイコドモ豆愛國班

流石はお役人の指導で立派に育ち上つた半島人だけの兒童愛國班が大人も及ばぬ活動を開始してゐる京城道理町黄金町五ノ一八三渡邊兵衞氏夫妻は本年七月頃から附近の半島人子弟を集めて苦心指導した由愛あつてこの班では立派に子供ばかりの愛國班を結成、毎月第一日曜が男子の常會、第三日曜は女子の常會と定めて班長金本鍾顯君(一三)が大人も及ばぬ指揮の下に班員は神宮參拜から街の清掃まで一手に引受けて、良い子供ぶりを發揮してゐる、最近では防空壕掘りまで手助けて大いに感謝された、この可愛らしい常會の生みの親渡邊夫人芳子さんは語る

『全く感心な子供達でいたづら盛りの子がこんなに町を綺麗にして呉れました、別に私達が指導したのではありません、飽くまでも子供達が自發的にやつてゐるのでございます』

中等學校防訓

鍾路區松町中東學校では十五日から三日間に亘つて府の防空事務囑託、海東少佐、塚田修氏、神坂三氏の指導の下に全校員一同協力して防空訓練を行ふことになつた、十五日午前九時から神坂氏の防空訓練に對する講演があつて午後は京城グラウンドで防護團員の防空機實演の參觀があり、十六日は午前中、塚田修氏により三角□の實演と午後は海東少佐の防空に對する講演及び防護面の使用訓練、十七日は午前中神坂氏の指導で警報(傳報、警報)と燒夷彈落下火災と消化(訓練)ガス彈落下救護と防毒の實演を行ひ午後は全員一同朝鮮神宮を參拜して終了

龍頭祭基町會も猛訓練

(龍山)一區(第一龍頭、深基、□□も含む)町會では特に七日から各愛國班交り合同で組織的防空訓練を實施し、當つてゐるが廿一日までにはこれも終了する

なほ同町會では以前から早朝五時四十分から中央商業學校校庭でラヂオ體操をやつてゐるといふ模範愛國班の集りである

女子師範も訓練

女子師範校では十九日午後一時から全校生徒を督勵して綜合防空訓練を實施、エレクトロン一キロ燒夷彈の實驗を行つた

町會で國語講習會

國語常用の際下國語を知らないのは町全體の恥だと府内桃花町會では廿日から附近の中央商業學校で國語を

亡國病に挑む

結核豫防協會の講習會

實地醫學の結核診斷及び治療に關する知識と技能の向上熟達を圖るため財團法人結核豫防會朝鮮地方本部では來る十月廿日から廿五日まで六日間京城帝國大學醫學部附屬醫院で『第二回結核講習會』を開催するが、講習員の資格は醫師の資格を有するもの、申込期日は十月五日までゝ定員は六十名となつてをり、講習料として十圓を申受ける、なほ講師には城大教授佐藤剛藏氏外八氏が當る

モンペ部隊長申合

敦化門町會忠淸町第一區班長十名は來る廿三日の秋季皇靈祭當日、第一線に働いてゐる皇軍武運長久の祈願と英靈に對する感謝の意を現はす爲めに各自一圓づゝ集めて同日午前八時朝鮮神宮を參拜、後華嚴寺に參詣することを申合せたが隣組の勤農町第一區班長四名も贊同して參加する

働く乙女の意氣潑剌

京紡の運動會

二千男女工産業戰士を擁ふ京城紡績工場の運動會は二十日午前八時から快晴に惠まれた同構内運動場で開幕國民儀禮ののち取締役支配人崔斗善氏開會の辭あつて全員ラジオ體操も元氣潑剌と紅白二陣に分れて各種目の競技に入り沸きかへるやうな應援歡呼の聲に一千餘名の産業乙女はまち切れる元氣で擔架競技、防火訓練等時局色豐な各種競技に敢鬪して午後四時半閉會した【寫眞＝運動會】

得◇意◇配◇給

米の買出變更

米の配給に萬全を圖るため西部方面では、府糧穀課の指示により二十一日から米の買出票を得意配給に變更した、これは府民の要望するところで買出票では日增しに不平が高まるのを防止するのである、つまり以前から得意先がある町民を調査して買出票を廢止し以前の得意米屋を中心に配給をすることになつたもの

銅器七十餘斤を獻納

變屈婆さんにもこの赤誠

素泥町七九ノ一原城宅柱氏(七)は二十日鍮器類七十餘斤を町會へ持込んで獻納手續きをとつた、赤誠に溢れる原城さんは半島婦人の長髮に電氣も使はず、石油の灯りをつけてゐるといふ變屈なお婆さんだが最近は時局に目覺めて自發的に町會の防空壕建築にも寄附、國債も意外に澤山購入してゐるのに町民の話題は變化と共に非常に感激してゐる

獻金の花束

十八日滿洲事變十周年記念日をトし永登浦署に寄せられた獻金の花束―

日本紡績鹽防時別分團員東久一郎氏は分團から手當をもらつた金十圓、同紡績紡島乙助氏は長女房子さん忌明けとして金十圓國婦永登浦分會山中つや會長以下七百十名が醵金した金五十九圓八十三錢東洋紡績京城工場内地人指導女工二十四名が醵金し代表牛島房枝十二圓、富月食堂のお姐さん伊慶福子十圓

◇

誠信家政學校及び誠信女學校代表柳浩瓊、豐原芳子兩孃は上田先生に引率されて廿日本社を來訪、滿洲事變十周年記念と金八十六圓廿五錢を國防獻金に寄託した

この金はさる十八日の滿洲事變記念日に、兩校生が敦岩町の同校新設校舍工事場で勤勞奉仕をなし更に生徒たちがめいめいに小遣を節約して出し合つた金で記念日を意義深くしようとして獻金したもの

滿洲國人の獻金

西大門一丁目五八徐廣寬さん(滿洲國人)は二十日金二十圓を鍾路署へ獻金手續をとつた、徐さんは木工業者で先般朝鮮料理業組合によつて料理店にも獻金箱を置くやうになつたので、これを自分が請負つたが、二百十圓を貰ふと同時に獻

献金手帖

長谷川町大海堂印刷株式會社員岸重氏はこの程結婚式をするに當り諸費用を節約し金一封を國防獻金として十六日本社に寄託した▲同明水台町聯盟第五區愛國班第五區愛國班一同から金五十圓廿七錢同第九區愛國班一同より金廿一圓五錢同第四區愛國班一同より參拾參圓五拾七錢を(鍮器回收賣却代金)の國防獻金として本社に寄託した▲長谷川町大海堂印刷株式會社員岸重君武比金を

當り諸費用を節約した金一封を國防獻金として本社に寄託した▲明水台町聯盟第九區愛國班一同はこの程鍮器回收をなしその賣却代二十一圓五錢を同五區愛國班一同から五十圓二十七錢を同第四區愛國班一同から參拾參圓五拾七錢を國防獻金として本社に寄託▲新町十一赤狄織吉氏は兄故赤狄與三氏の忌明に際し貳百圓を機械化國防獻金として本社に寄託した

國防獻金として代表者二宮豐錫、金澤榮藏、豐川正義三名が本社に寄託した▲岡崎町七〇キリンビール特約店平井商會酒類部員一同は賂品回收賣却代金參拾八錢を滿洲事變十周年記念に國防獻金として本社に寄託

國婦吾野分會一同は百圓を國防獻金として代表者吉澤鶴壽久さんから十日本社に寄託した▲長谷川町大海堂印刷株式會社々員岸重君が此の度結婚をするに

培花高女で慰問文送る

昭和高等女學校では十八日滿洲事變記念日に際し大陸の戰野に奮鬪する皇軍將兵に些かの慰安でもと全校生の眞心をこめた慰問文を二十日本社へ傳達方寄託した

グライダー實習會參加

貞洞町培材中學校では黄海道海州で來る十月から十一月までに行はれるグライダー實習會に同校西原勇先生が校内專任教授として同實習會に參加することとなつた

富一郎君ヤーイ

長谷川町九八金村永壽さんの甥金村富一郎君(一二)＝寫眞＝は去る七月十四日正午叔父さんに叱られて家出、消息を斷つたので十九日金村さんは本町署に搜査願を提出した、富一郎君は生來の不良兒で大和塾に通つてゐたものである、何方か行先を知らせてくれた人には薄謝を呈する【寫眞＝富一郎君】

みそぎ例會

來る廿三日午後七時から、〃みそぎ〃例會開催、拜神、振魂、鎭魂等の神事のほか、道彦金谷眞氏の講演がある

一般出席歡迎、會場は市内本町四ノ一みそぎ會星座禱團

牛ごんに聖汗

京城府龍山出張所では廿日の『牛どん』を利用午後一時から五時まで龍山加藤神社御造營敷地の地ならし工事に全職員揃つて聖なる汗の奉仕をなした

東部實踐部副部長決る

安岩町副總代高原光俊、回基町副總代渡邊潤海兩氏は十五日附で東部第一方面實踐部副部長に任命された、又佛原文馨(安岩町)平野豐一(淸凉里)松山淸正(昌信町)の四氏は同日同部員に任ぜられた

戸籍事務研究會

十九日午後四時府龍山出張所では同武良所長、松本同戸籍係主任以下十六名、本廳から伊原戸籍課長以下六名、東部、西部、永登浦の各出張所戸籍係八名が出席月例の戸籍事務研究會を開催した

竹添町會員の鍛錬

竹添町會では役人達の體位向上を圖るために各指導員、區長を總動員、廿日安養寺冠岳山探訪を行つた

十字路

◇……先日崇仁新設町の家事講習會の修了式で同町副總代の安田さんが實に興味の深い講話をやつた

◇……つまり男子の道樂は夫人の罪である、夫人がしつかり料理のコツを心得て美味しいものを食べさせてゐれば何を好んで男は外の飲食を求める必要があるだらうか、朝鮮婦人は古來働かぬことを第一の見榮とした、であるから夫を外に送り出す機會が多かつた…あなた方が立派な御料理を作るやうになれば必ず旦那樣は家を外にせぬやうになります…と

◇……これを眞面目な顔で諄々と說き訓すこと約二十分、誰一人笑ふ者がなかつたのは誰しも考へてゐる切實な家庭問題ではあつたからだ

歌はぬ勝利 (6)

山中峯太郎【作】 高木清【畫】

對話行 (二)

公子は、隆のさしてゐる番傘と、自分のパラソルの上に、雨のあたる音がちがふのを、それとなく聞きながら、くりかへして思ひだした。

――この人は、あたしの何だらう。

今年の春、本科を卒業の前後から、時々、隆のことを思ふたびに、きらめくやうな疑ひ、といふよりも、胸のなかをよぎつてゆく衝動的な發作に、自分でもハツとする時がある。今もそれだつた。現にその人――背の高い隆が、大きな番傘に雨の音をたてて、のつそりした感じで歩いてゐる。黑い毛のはえてゐる足が、朴齒の下駄といつしよに動いて行く。

――この人は、あたしの何なのか知ら。

この認識を、あらためて考へてみたい公子は、ふと顔をかしげたい氣がした。

――愛人か知ら。まあ嫌だ。ばかげたことだわ。

愛人などゝ、かりにも思つてみるのさへ、公子は、相手が隆にかぎらない、およそ誰だらうと、自分はスツクと立上つて身ぶるひするほど、あたまから足のさきまでそんなことは嫌なのである。

――あたしは女だ。けれど、心は男よりも強くなつて見せる。ふん、愛人なんて考へるものか。

女學校の二三年時分から、自分の決意は堅く、かうなのだつた。無論、自分ひとりの覺悟である。男よりも強いものになつて見せる。別に誰にといふ見せる相手は、いのだけれど、このやうに自分で氣負はずにゐられない。これが、すなはち公子なのだつた。

――愛人なんて、ばからしい。あたしは男だわ。心は女ぢやない。では、この隆は、あたしの兄さんみたいな人か知ら。ちがふわ。兄と思つてみるのも、やつぱり何だかしつくりしない。では、お友だち。いゝえ、こんな年のちがふ變なお友だちなんて、ありはしないわ。

愛人も兄も友だちも、みんなを自分で強く打ち消してしまふと、いよいよ不思議な感じがして、これを考へてみるのは、とても面白いのだけれど、また急に打ち消したくなつて、

――何だつていゝぢやないの、めんどくさいわ。

と、二重に打ち消してしまふと、

『ふん……』

鼻の先で、また笑ひだした。すると隆が、何か思ひ出したやうに云つた。

『人情輕薄だな』

『え、なあに』

『……』

『誰がなの。あたしが輕薄なの』

『うん、さうだ。貴公ばかりぢやない。おれもだ』

『どうしてか知ら』

『考へてみろ。今さき小母さんの前で貴公と俺も、七郎のことで泣いたぢやないか。それを、家を出て來て、まだ二十分もたつとらんのに、下らん話をして、すでに笑つとる。輕薄ぢやないか』

『さうお。だつて、いつまでも泣いてはゐられないわ。をかしいから笑つたつて、いゝと思ふわ』

『いや、今日は。いつもと違ふぞ。七郎の命日だ。おれたちは、小母さんの氣もちを、いや、氣もちといふ言葉は、きらひだ。輕薄な言葉だ。小母さんの精神を、おれたちは十分に嚙みしめて、自分のものとしなければならん。おれは今日、小母さんに負けた。七郎の位牌を作りなさい、などと云つたのは、つまり、私情だからナ。小母さんは、大義名分に生きてゐる。苦しくても、あの方が、ほんたうだ。おれは負けて來た』

ぷつりぷつりと強く打ち切るやうにいひながら、隆は公子とならんで、目白の大通りへ、雨の中を出て來た。

『さう。隆さん、負けたのね』

公子は、快活にいつたが、ふと聲をしづめると、隆の顔を横から見あげて訊いた。

『七郎さんのお骨は、どこにあるのですかつて、隆さんが、あれほど訊いたのに、伯母さまは、とうとう何ともおつしやらなかつたわね。なぜだか知つてる、隆さん』

京城日報

勞働賤視を打破　勤勞へ赤誠凝結
皆勞强調運動實施に際し　南總督重要訓示

明廿一日から全鮮一齊に國民皆勞運動を展開するが、これに先立ち南總督は廿日午前十一時から總督府正面玄關に大野總監以下三千餘員を招集して〃國民皆勞强調運動〃實施に際し本府職員に望む左の如き　烈々懦夫をも起たしめずにはおかない火の如き訓示を與へて、半島二千四百萬愛國班員の師表たるべき覺悟を要請した

南總督烈々の訓示

總督訓示要旨

明日より向ふ二ケ月間全鮮に亘り、國民總力朝鮮聯盟指導の下に國民皆勞强調運動を展開するに方り本府職員一同の注意を喚起して置きたい、現代の戰爭が國家、國民の總力戰であるといふ定義に對しては既に何人も疑を挿むの餘地なく、亞歐兩洲における戰爭の實際が最もよくこれを立證して居る所である

然るに支那事變を中心とする東亞の情勢は最近著しく緊迫の度を深むるに至つた、米、英、蔣、蘭の聯合戰線結成と謂ひ、資産凍結による經濟斷交と謂ひ、將た又米國の歐洲戰に對する宣戰なき參戰の態度決定と謂ひ、何れも次に來るべき重大事態を豫想せしめざるはない、此の爛組焦眉の形勢に處し、我が帝國の期する所は飽く迄自力を恃んで他力を頼らず、高度國防力に據る臨戰態勢の確立を以て時と場合の如何を問はず敵の挑戰に對應して必勝を制する　にある、政府が國家總動員法關係の法令を强化し國民徴用の範圍を擴大し來れるも、擧國の民意を結集して國民大運動を擴頭し來れるも共に臨戰態勢確立の重要々素をなすものであつて、皇國必然の姿に外ならず、今、本運動において强調すべき大精神は次の如くである

一、本運動は全く内鮮無差別にして全民衆の赤誠を凝結し、勤勞報國の精神を極限にまで昂揚することである、特に我が半島は其の量と質とに於て内外地を通じ偉大なる實力を有し、之を有効に活用せば國家總力の發揮に貢献すること多大なるは論を俟たない、國民精神總動員運動以來錬成した皇國臣民の資質を以て内鮮一體、勤勞報國の[illegible]

[illegible]此の秋である

二、勞働賤視の舊觀念を打破することである[illegible]恒産に坐食して悠々自適するを富者の特權とし、勞働を賤視するの觀念は今日の國民道徳の許さざる所である[illegible]

三、本運動は國家より見れば國民の精神力、體力、智力の總動員であり、國民個々の立場より言へば、各人の能力を提げての總參戰である、戰場は決して海陸の第一線のみにあらずして、各人の職場これ戰場である[illegible]如何なる勤勞、勞働も無上の[illegible]

[illegible]國民皆勞强調運動の發足に當り[illegible]本運動の奏効を期して[illegible]

昭和十六年九月二十日

資金の臨戰態勢
金原賢之助

[illegible]は、かゝる動員計畫の[illegible]をなすものであつたが[illegible]定をみた資金計畫及[illegible]出入計畫はその物動[illegible]けとなるものであつ[illegible]二者は一體として總[illegible]畫を完成するものな[illegible]れ等の計畫は、その[illegible]が抽象的であるから[illegible]は一般國民から、直[illegible]る傾きがあるやうに[illegible]しかしながらそれは[illegible]の案などと混同して[illegible]もので、現實に我が[illegible]國經濟の全體を當分動かしてゆく大本なのである。言換へると一般の取引や我々の生活も、すべてその計畫の下に動かされて行くのである。それ故に、その發表の仕方は抽象的であつてもその大體の方向をはつきりと掴んでおく必要があるのである。

◇　◇

さてその一つの資金計畫について見ると、主眼點のうちに、『供給資金はすべて蓄積資金を以て賄ふこと』が指摘せられてゐる。これは非常に重要なことであると思ふ。

即ちこゝに供給資金といふのは、公債の消化、事業資金及び對滿支供給資金の三つに振り向ける資金のことを意味してゐるのであつて、それ等必要な資金をすべて蓄積資金で賄ふ方針をとるといふのである。勿論蓄積資金といふのは、國民が蓄積する資金のことであつて、大まかにいへば國民の貯蓄である。言換へれば、公債消化や産業に必要なだけの資金を、國民は貯蓄しなければならぬことを示してゐるのである。

◇　◇

例へば公債は、これまで八、九割が國民貯蓄で消化され、殘り一、二割は日本銀行の手持ちとなつてゐた。即ち若干の部分は國民貯蓄によらず、新たに發行される紙幣で賄はれてゐたわけであつて、それ丈はどうしても通貨膨脹となる傾向があつたこれは今後公債の發行が增加するに際しては、決して面白い傾向でない。故に今後公債は、國民貯蓄で完全に消化するやうにしようといふのである。

ところで、國民貯蓄運動の目標額は、かゝる公債資金と産業資金によつて建てたものであるから、それ丈貯蓄が出來ればよいわけであるが、しかし急速に臨戰態勢を整備する必要を考へると、公債及び産業資金は豫定よりも增大すると考へるのが至當であり、それ丈國民は貯蓄に馬力をかけると同時に消費生活を切りつめなければならぬのである。

奇襲艦捜査を示唆
"米海軍は否定するも"

【ワシントン特電十九日發】パナマ運河地方よりの情報によればアメリカ軍艦はパナマ運河附近水域においてドイツ奇襲艦を擊沈したと傳へられてゐるがアメリカ海軍當局は右の事實なしとこれを否定してゐる、たゞし右の新聞會見においてノックス長官がパナマ附近の島嶼を根據地としてドイツ奇襲艦が跳梁をふるひつゝあるや否やを突き止めるべくアメリカ太平洋艦隊をして捜査に當らせてゐる旨示唆したことゝ併せて太平洋におけるアメリカ軍艦最初の發砲事件發表說は十七日[illegible]

非武裝地帶監視委員會

【サイゴン十九日同盟】第一回泰佛印非武裝地帶監視委員會は十九日午前九時よりサイゴン市本部において關係三國委員出席のうへ開催、非武裝地帶における警察隊の性質、員數及び警備、航空に關する制度の決定、警察隊の一時的增强に關する取極めなど細部協定に關する草案を日本側委員より提案、三國委員間に質疑應答が行はれたが、來週の第二回委員會において三國委員の共同檢討が行はれる豫定である

英人引揚輸送船　廿三日横濱入港

【横濱電話】在日英人引揚げ輸送船安徽號（三、五〇〇トン）は廿三日正午横濱に入港、廿五日横濱在留の英人四十名、印度人五十餘名を乘せ出帆途中神戸、大阪、長崎などで英人、印度人約四百餘名を乘せシンガポールに向ふ豫定なほ資産凍結令によつて横濱の印度人商館廿九社のうち廿一社が封鎖し、またイギリス人會社は現に廿六社が殘つてゐるが十二社を除きほとんど閉鎖同樣の狀態である

獨軍キエフに突入
更に前進ポルタワ占領

【ベルリン十九日同盟】獨軍司令部十九日の發表によれば獨軍は月餘にわたる攻略戰の後遂に南部戰線最大の要衝キエフに突入、同市城砦上に高々とハーケンクロイツ旗を掲揚した、また他の部隊もさらに前進してクレメンチユグ東北百キロのポルタワを占領した、ウクライナの首府キエフは人口八十萬モスコー、レニングラードに次ぐソ聯第三の大都市、交通の要衝でウクライナ最大の輕工業中心地である、またウクライナの文化的中心であり歷史的記念物も多い、ポルタワはキエフ東南二百キローハリコフ西南百キロ煙草、石鹸、皮革などを產し鐵道の要衝である、一七〇四年ピヨートル大帝麾下のロシヤ軍がスエーデン軍を擊破した有名な古戰場で一九一八年獨軍によつて占領されたことがある

激戰展開〔ソ聯側情報〕

【ヴイシー特電十九日發】十九日モスコー發ヴイシーに達したソ聯政府コムミユニケによればキエフを攻擊中のドイツ大軍は十八日同市城門に害崩を打ち殺到、激戰は目下なほ同市を繞る全戰線に亘つて白熱的に展開されてをり、キエフ攻防の激戰は過去數日に亘つて繼續されドイツ軍の破つた損害は兵力、資材の双方において甚大な數量に上つたが、ドイツ軍はなほも新手兵力を繰出して猛攻を續け、十八日遂にキエフ市郊外の外廓防衞線の一角に突入したがソ聯軍は頑强に抵抗中である。

【寫眞＝キエフ市街】

愈よモスコー攻略
ドニエブル河の自然要塞線突破

【ベルリン十九日同盟】約二週間の休戰期間を利したドイツ軍は綿密の計畫を立ててゐたが、ウクライナ方面に及ぶ全戰線にわたつて總攻擊を開始してゐたが、ウクライナ方面日前からレニングラードより黑海ではドニエブル河の强行渡河に成功し大包圍陣が完成したので十九日午後その戰果を發表した、ドニエブル河は幅一、二キロに達する大河で自然の要塞線をなしてゐるうへ赤軍は對岸に牢固たる陣地を構築し待機へてゐるのでこれを正面からまともに攻擊するのは徒らに犠牲を多くするだけなのでヒトラー總統はまづゴメル方面のフォン・ボック軍をキエフの東方二百キロの線に突入させ、ドニエブル河の陣地を死守してゐる赤軍の背後を脅かすに至つた、かくて赤軍は後方遮斷の危險に曝され一部兵力を割いて後方に備へなければならなくなつたので、その虛を知つたルントシュテット軍は赤軍の防備の最も手薄になつたクレメンチユグの兩側百二十キロにわたる地點から一齊にドニエブル河を强行渡河し、モスコーに至る最後の大要塞線の突破に成功、かくてウクライナ防備のブジョンヌイ軍の大半は殲滅に瀕し、一方レニングラードの包圍戰も順調に進捗し、さらに黑海沿岸から進擊中の部隊はクリミヤ半島の頸部を押へセヴアストポールを麻痺狀態に陷れてをり、戰鬪はいよ〳〵第二期の全面的大攻勢の段階に達した、キエフ東方の包圍戰が一段落となり次第レニングラード方面から南下するレーブ軍とルントシュテット軍が協力しモスコーを南方から挾擊しこれを陷落させるものと見られるいづれにしても主要作戰は十一月初旬頃までに完成する必要があるので、ドイツ軍もこの機會に相當强引の攻擊を續行するであらう、ベルリンの消息筋では有力な赤軍部隊と廣汎な戰線で對峙したまゝ越冬するだらうとの英米の期待は間もなく裏切られるものと觀測してゐる

四ケ軍團五十萬
赤軍の精鋭を完全捕捉

【ベルリン特電十九日發】キエフ東方に進められつゝあつたドイツ軍の赤軍包圍殲滅戰は完成し、十九日午前には四ケ軍、戰鬪員數凡そ五十萬と推定されるソ聯最精鋭軍を完全に捕捉するに至りこの方面における過日來の包圍殲滅作戰は今や最高潮に達した感がある

【ベルリン十九日同盟】ドイツ軍司令部發表＝

一、ゴメルの戰鬪後有力なるドイツ軍部隊はデスナ河を强行渡河する目的をもつて同河上流および下流中間へ進擊、他方困難をきはめた諸條件下において百二十キロの幅にクレメンチユグの兩畔でドニエブル河を渡河北方に向かひ進擊した

一、合同せる右諸軍團は九月十三日以來キエフ東方二百キロの線に進出、かくて赤軍四ケ軍團に對する包圍陣を完成熾烈なる殲滅戰を展開中である

一、レーブ大將およびクツセルリンク元帥麾下の空軍は右作戰に參加赫々たる戰果を收めた

一、ドイツ擊墜機編隊は十八日夜モスコーおよびオデッサ市ならびにその港灣施設に對し猛爆を加へ各所に火災を生ぜしめた

一、開戰以來の赤軍捕虜數は約百八十萬以上に達した、しかして從來の經驗から推算すれば戰死者は少くともこれを同數またはそれ以上と認められる、一方ソ聯側はドイツ軍の戰死者數を百五十萬乃至二百萬と宣傳してゐるが、職能なる調査の結果開戰日たる六月二十二日より八月二十一日までのドイツ軍戰死者次の通りである

陸軍戰死八萬四千三百五十四▲負傷廿九萬二千六百九十名▲行方不明一萬八千九百廿二名

空軍戰死　千五百四十二名▲負傷三千九百八十名▲行方不明一千二百七十八名

即ち戰死總數八萬五千名に過ぎない

對ソ援助强化　ハル長官語る

【ワシントン十九日同盟】[illegible]の討議を避け單に對ソ援助强化方針を强調するの如く語つた

米政府は對ソ援助の增加を企圖してゐるのみならず援助の擴ならびに速度を增大せしめることを計畫してゐる

における ソ聯側の不振は民主々義陣營に少からぬ影響を與へ、ワシントン消息筋ではソ聯軍崩壞後に來るものは對英上陸作戰として早くも憂慮の色を濃くしてゐるが、十九日の記者團會見ではハル國務長官はイギリスの悲觀的觀測については「充分かつ正確な報道に接してゐないから」といふ理由でそ

湘江を完全制壓
汨水を挾んで決戰態勢

【汨水北岸にて廿日同盟】十八日夕刻粤漢線上の黄砂街（岳州南方卅六キロ）を占領するとゝもに附近數ケ所において同鐵路を遮斷して敵の死命を制したわが杏、森田、鵜澤、小浦の各部隊は引續き破竹の進擊を續行、南方に血路を求めて遁走をはかる敵を各所に捕捉殲滅戰果を擴大中であるが、敵第九戰區司令長官薛岳は頽勢を挽回せんとして第二十七軍および第九十九軍の一部を續々汨水河岸の陣地に集結しつゝあるもの ゝ如く、今や汨水の流れを挾んで彼我一大決戰の態勢にある、他方今村快速部隊を主力とする有力兵團は黄砂街占領後引續き洞庭湖畔に向つて敵をひた押しに壓迫九日薄暮湘江東岸の要衝磊石山に進出し、湘江を完全に制壓した

新牆河を强行渡河進擊するわが島栖戰車隊（寫眞）

征けぬ身は國債買って御奉公

仙臺地方海軍人事部長更迭
後任は庄司大佐

【東京電話】海軍省では仙台地方海軍人事部長の更迭を二十日午前左の如く公表した

（海軍省發表）本日左の通り補職發令せらる

補仙台地方海軍人事部長　海軍大佐　庄司　芳吉

なほ前任者海軍大佐末廣由己は職地某要職に補せられたり

外務辭令（東京電話）

特命全權公使　秋山　理敏

ニカラグア國駐劄兼任被仰付

從四位勲四等　加藤傳次郎

任總領事兼公使館一等書記官（三等）

命ウイン在勤（總領事）

命スロヴアキヤ在勤（公使館一等書記官）

總督府辭令（十九日附）

鐵道局書記時下八重藏任鐵道局副參事（七等）▲鐵道局技手村岡近三▲同加藤四郎七▲同中尾庄作任鐵道局技師（七等）（各通）▲司稅官補馬淵邑雄任司稅官（七等）命咸興稅務署在勤▲命咸北道技手菅原誠一任道技師（七等）咸北道在勤▲晋州高女教諭醫師訓治任中學教諭（七等）補春川中學教諭▲實業教諭安藤豊任實業教諭（七等）補密陽農業學校教諭▲宮永圓龍任道立醫院醫官（七等）命忠北道在勤▲京畿道囑託技手岩永甚藏任産業技師（七等待遇）補京畿道産業技師▲慶南産業技手岡部典相任産業技師（七等待遇）補慶南道産業技師▲忠北道技手浦中貞一任産業技師（八等待遇）補忠北道産業技師▲特定郵便局長宍戸八兵衞高等官七等待遇▲癩療養所事務官吉崎達美依願免本官▲産業技師宗像熊次▲同福原三郎▲同太田正一依願免本職（各通）

―人―

◇福井隆一氏（天津銀行頭取）新任挨拶のため廿日來社【寫眞＝福井氏】

◇澁谷恒次郎氏（鮮銀調査課長）同上【寫眞＝澁谷氏】

時の録音

靖國神社臨時大祭を前に、護國の英靈、一萬五千十三柱の合祀を仰出さる。

×

半島關係も九十六柱、遺家族の感激は一入、聖恩の無窮に泣く。

×

半島初めての志願兵李仁錫上等兵も新祭神に加へられた。二千四百萬民の感激、言葉もなし。

×

皇軍長沙防衞の第二線陣地を擊破、征けば必ず勝つ、皇軍の精鋭をみよ。

×

國民皆勞運動愈よ活潑に展開働かざる者は喰ふべからず。

文化

みそぎの道【6】

金谷 眞

【みそぎ會星座幹部】

山村耕花氏畫

〝はらひみそぎ〟の信仰と、隨神の道行とは世界のあらゆる宗教、哲學、科學を綜合したものである。世界に冠絶したる日本神典の意義はあまりにも幽玄なものであるから、たゞ文字の上を撫でまはした位でその眞意をうかがひ得べきものではない。稗田阿禮の傳へた古事記の内容と外觀は〝みそぎ〟の行事を體驗することによつて初めてその眞相をうかゞふことが出來るのである。〝みそぎ〟こそは、實に日本神典の扉をひらくべき祕鍵であるといふべきである。

かくの如き神傳が、惜くも湮滅

畏くも天祖天照皇大神の御弟たる素戔嗚大神には朝鮮にお渡りあそばされ、更に大國主神、五十猛神、須世理姫神、少彦名神たちは、いづれもそのあとを御繼ぎになつたものである。朝鮮民族の始祖は素戔嗚神なりといふのは日本民族の神代傳來の信仰である。

日本最古の神道たる〝みそぎの道〟は單に日本一國のみに局限さるゝ如き狹隘なものではない。それは世界道であり宇宙道である。また狹き一宗教の繩張りに縮まつて居るものでなく、あらゆる世界の哲學や科學を指導するに足る權威をもつてゐるものである。

釋迦、孔子、クリストを知つて祖國祖神の垂示を識らざるものあれば、それは只に自己を侮るのみならず、敬愛すべき祖國を侮蔑するものである。ヒトラー總統はベルヒテスガーデンの山莊において齋戒沐浴し、物忌みをなし、更に靈魂の幽玄境において用兵作戰の神策を巡らし、電光石火これを實行に移しつゝあるではないか。ドイツは既に日露戰爭直後において日本神典を飜譯し、日本與隆の淵源するところを究めてゐるではないか。この超非常時に際し、未だ日本神典にめざめざる同胞ありや否や、決して然らず。一億同胞は今や祖國祖神の垂示によつて、世界統一の大理想に向つて邁進しつゝあるのである。（をはり）

を吹きかけて川に流す如き、また神室にシメ繩を張り木炭によつて火のハラヒをなし、白衣をまとひ、また婦人は夏季月明の夜において溪流にみそぎするの習慣があり、またその信仰において、半島人のそれはわが古神道の流れと離れ一點相通ずるものがある。これによつてこれを觀れば、二千四百萬の同胞の血脈を流れてゐるものは佛教にあらず、儒教にあらず、クリスト教にあらざる朝鮮固有のそれであらねばならぬ。たゞそれいともかそけき流れであるがゆゑに、人の氣づかざるまでである。

内鮮一體は先づ信仰よりはじまらねばならぬ。世界最古の神典たる古事記、日本書紀においては、

明滅燈

映畫評の立場

映畫批評の任務は映畫を批評することではない。映畫を改識することである。映畫を改識するために映畫を批評することが正しい場合もある。映畫を高過賞すことが正しい場合もある。映畫批評家は其の究極の任務のために最も合目的な手段を、攻略を、戰術を用ひなければならない。國師東寶の島津保次郎監督のいふ樣に、優れた批評家は、卓れたタクテイックの持主でなければならない。（朝鮮銀行祕書野村武）

公演を前の『黑鯨亭』

公演の初日は、いよく目…、〔…〕その日を待つばかりとなる（右端は柳致眞氏）

資材獲得を打診

映畫界の一元化を前に

創立委員として六氏を選出

内地映畫界の一元化に呼應し、半島映畫製作陣も十餘の製作所を一社に統合、映畫獨自の立場による使命完遂の方針を確立し、眞の國策映畫製作に邁進せんとしてゐることは既報の如くであるが、今回のその目的とするところがフィルム資材の制限にあるは論を要せず、この點製作の點をなしとしなかつた内地映畫ならばいざ知らず、未だ發展の充分ならざる半島映畫の成果は今後をこそ期待するものであるとし、近く統合新會社創立委員間で、半島映畫の重要性を當局がどの程度容認し得るものかを打診し、先づ企業の根幹を決定する資材獲得に萬全を期することとなつてゐるが、常任創立委員として製作者協會員から次の六氏を選出した

梁村奇智城（京城映畫製作所）廣川創用（高麗映畫社）張善永（朝鮮映畫社）徳山清三（京城映畫社）津村勇（朝鮮文化映畫協會）

なほ臨時創立事務所を京城府長谷川町一一二朝鮮文化映畫研究所（電話本局四六二三番）に設置した

新映畫評

スケッチ風な女學生記

東京發聲作品

東京發聲作品『女學生記』――東京市のある女學校の四年生のクラスが中心になつてゐて、この映畫には別に主人公的人物はゐない。その四年生の級の女學生たち一人一人の色々な挿話を積み重ねて、その年ごろの無邪氣さとか感傷的な面をスケッチ風に描いてゐる。細川武子の原作から鈴木紀子が脚色し、村田武雄が『大地に祈る』に次で監督したもの、少女雜誌でもみせられたやうな甘い映畫だが、この種の物によくある例の感傷性を誇張したり、劇的に扱はなかつたことは大きな取得である、今どきの女學生の機相をそれらしくありのまゝに紹介してゐる。

女學校の四年生といへばそろそろ夢から離れて現實に興味を持ち始める年頃で、そこには戀愛や心的相剋があつていゝ、理窟つぽくならない程度にさうした内的なものに觸れてゐたらと思つた、然し今の女學生自體が事實この映畫のやうに甘く子供つぽいのかも知れない。女學生中の主な役には高峰秀子、矢口陽子、谷間小百合、御用京子が扮してゐる、先生には御橋公、日部雪子があたり、山田五十鈴は出征軍人の妻として千人針を持つて一寸出てくるだけ（約一時間、若草上映中）

朝日座の漫才

廿五日から京城朝日座には清水樂天隊の漫才部隊が出演する、中には半島が生んだ歌曲の人氣者與成

〝東西樂劇團〟

けふから城寶

【寫眞＝凸才師の花形青空ノボル】

東西樂劇團にと『つばくろ舞隊』の一行が季節の訪れを狙つていよいよ十日から城寶の舞台に唄とおどりの明朗ショウ『初秋のうたげ』全十景を繰展べ、正夫とそのバンドの溌剌たる青春美がステージから呼びかけてゐる、この演奏は野中正夫とそのバンドで、構成演出を西川忠祐、裝置高根舞、照明佐藤五郎が擔當、この週映畫は東寶ビス作品、エミール・ヤニングス主演『支配者』で料金は特別七十錢である【寫眞＝本社訪問のつばくろ舞隊の一行】

今週番組

京城寶塚劇場 …から廿九日まで …

美術倶樂部 落成記念展 けふから開催

真善美

南山町二丁目の…

婦人常識

品質の惡い電球は損

マークに注意して買ふこと

照明の改善と電力節約には、電球の選擇も充分行はねばなりません。粗惡な電球は、明るさも低いですが、たとひ明るさが良質の電球と同じであつても、メートルを澤山喰つて家庭の經濟が膨脹するばかりでなく、國家的な立場からしても損ですそこでどんな電球を買ふか、といふことになりますが、電球の良否は素人の肉眼では見當がつきませんから、どうしても電球のマークに頼る外はありません、つまり名の售れた會社の電球を求めるといふことです、いままではそんなことはないでせうが名も知れぬ會社のものには以前規格外の品が澤山ありました、いまでは規格に叶つたものを出してゐるかも知れませんが、それにしても製品はよい會社のものよりずつと落ちます（照明學會談）

獨逸に於ける航空教育（下）

市川 清實（朝鮮總督府秘書官）

この模型大會は、模型大會も全國大會も滑空機と動力模型機とを別にし、滑空機の聖地といはれてゐるワツサークツペの山上で行はれてゐる。選抜に選ばれてこの山に登つて來るのは、獨逸少年達にとつて非常な名譽な事で、大會中三日間山の中に天幕を張り、夜中は焚火して團隊訓練をなしながら競技を行ふ。

次に十五、六歳になると、初めて滑空機に移らせる、それも獨逸では最初から滑空機にのせ、或はゴムを引いて走らせるのではなく、先づ滑空機の整理とか製作の手傳ひをやらせ、それから乘せるのである。この年頃の者は殆ど全部ヒトラー少年團（ユーゲント）である。

この少年團の中には、飛行部というものがあり、滿十八歳になると各自の希望により、色んな例へば自動車隊と滑空隊に分れ、夫夫の正隊員となるわけである。

それで十五、六歳から滑空機に進んだ少年達は、ナチス飛行團の指導のもとに、學校の休とか或は或る期間教育として國立の滑空機學校、或は滑空機製作學校に送られ、十八歳になるとその中から成績優秀で適性を持つものが飛行機の操縱訓練に進級する。

即ち滿十八歳になると、ナチス飛行團の正團員になる規則であるが、十八歳六ケ月になると、御承知の通りドイツの嚴格な若者は一人殘らずアルバイト・ディンスト（勞働奉仕隊）に入らなければならぬ。この勞働隊は兵營の代りにスコップを持たせる一種の徴兵であつて全く義務的な強制的なもので、嚴格に訓練するといふやうなな…

やさしい意味の團體でなく、根本的に團隊訓練を受ける。半年の間この勞の服務が終ると、飛行團員であつた者はこれに歸ることになるが、間もなく軍に徴兵される。勞働隊に入つたもの々體驗付であるから、百パーセントの兵隊になり、飛行團出身のものは航空兵へ、自動車隊のものは機械化部隊に入隊する事になる。兵役がすむと又夫々自分の職業へ、航空兵はナチス飛行團へ歸つて來る。結局ナチス飛行團といふものは空軍の在郷軍人であり、航空青年團であり、航空教育訓練團隊であり、いざといふ時にいくらでも補助隊を出し得るものである。…

京日歌壇

朝鮮風物・生活・事變雜詠

吉井勇選

新義州　杉　旺之介
別れ來し人をはしなく戀ふるかな更けてはげしき霜雨のなかに

滿州　舟城アヤ子
黑々と濡れし鋪道に映り過ぐる灯たのしみ夜の街を行く

龍山　山本　環
教室の窓より見れば青空に眞白き雲のひとつ浮べる

京城　出田　藤一
時雨來て日のひと日も海音の細髪調へたそがれにけり

同　佐野　滿
久かたの休みにあれど爲されなむ

同　五明　照子
日のありなはと砧衣つくろふ桑の實がほのか紅るむ頃來れば母はふるさとのことを語れり

仁川　砂田　甫水
庭先も道も一面アカシヤの葉と小枝なり大風の朝

同　濱井　光二
窓はみな開け放たれしビルヂング墨空高く聳えけるかも

金泉　水城　登代
やるせなの思ひ湧く日よライラック咲ける校庭にしばし佇む

京城　田中美沙子
滯りなく事務終りし一時を心澄まし蟬の音を聽く

朝鮮風物・生活・事變詠

（季節自由）毎月廿日締切 ▲官製ハガキに一人一枚三首限り認めて京城日報社學藝部『京日歌壇』宛

三國志【612】

吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

（赤壁の卷）

臨戰第一課（四）

表面、命令に從つて、それぐ前線へ向つては行つたが、内心、孔明の指揮をあやぶんでゐたのは、關羽、張飛だけではなかつた。關羽なども、張飛をなだめてはゐたが、

『とにかく、孔明の計が中るか否か、試みに、こんどだけは、下知に從つてゐようではないか』

と、云つた程度であつた。

時、建安十三年の秋七月といふ。夏侯惇は十萬の大軍をひきゐて、博望坡（河南省・新野の北方）まで迫つて來た。

十萬の案内者を呼んで、所の名をたづねると『うしろは羅口川、左右は豫山、安林。前はすなはち博望坡です』

と、答へた。

兵糧輜重などを主とした後陣の守りには、于禁、李典の二將をおき自身は副將の夏侯蘭、護軍の韓浩

け出した。

ときに趙雲もまた彼方から馬を飛ばして、夏侯惇の方へ向つて來た。夏侯惇は、大聲をあげていふ。

『劉備玄德の眾を喰つて、いづこへ行くか。劉備これにあり、首をおいてゆけ』

『何をつ』

趙雲は、猛らに、鎗を舞はしてかゝつて來る。

丁々數十戰、詐つて、忽ち逃げ出すと、

『待てつ、怯夫つ』

と、夏侯惇は、勝ち誇つて、飽くまで追ひかけて行つた。

護軍韓浩は、それを見て、夏侯惇に追ひつき、諫めていつた。

『深入りは危険です。趙雲の逃げ振りを見るに、取つて返して戰ひ、誘つては又逃げ出す樣子。伏兵があるにちがひありません』

『何を、ばかな』

夏侯惇は一笑に附して、

――

故矣島の飛行場で、その試驗飛行に無理に頼んで乘せてもらつた私の友人は、實は生れて初めて乘つた飛行機であつたが、漢江の上から南山上空へ、周囲わづか十五分の後に着陸した。

『十五分乘つたさうぢやないか』

さういつて聞くと

『正確にいふと十七分だよ』

と、二分間の差を強調した。

つまり、それ程も、今では空への經驗の少しでも多いことが、一つの誇りとなる時代になつた。即ち、空を知らぬは恥である。

わが友人の稚氣、また必ずしも笑ふべきではない。